

平成 2 4 年度第 2 回丹波市入札監視委員会議事概要

開催日及び場所		平成 2 5 年 1 月 1 0 日（木） 丹波市役所柏原支所 2 階会議室	
出席者	委員	石原 俊彦 （関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授） 大西 裕 （神戸大学大学院法学研究科教授） 古賀 徹 （弁護士） 安藤 幹根 （公認会計士）	
	事務局	永井副市長 足立財務部長 中野事業監理課長 畑監理係長 村上主幹	
	説明者	駒谷建設課長 里係長 由良主査 吉竹下水道工務係長 田淵教育総務課長 荻野主査 岡林収納対策係長 待場主査 村上恐竜を活かしたまちづくり課長 田原係長 太田環境整備課長 木下係長 前川水道工務課長 荻野地域づくり推進課係長 柿淵主査	
内容	1 報告	平成24年度第1回委員会での指摘事項について 不正事務処理事案について 丹波市建築工事監理業務委託事務取扱 試行要領について	
	2 議事 (1)平成24年度上半期入札・契約 状況の報告 対象期間 平成24年4月1日～9月30日	(建設工事)入札：109件 落札率：86.50% 契約金額合計：2,513,766千円 (業務委託)入札：102件 落札率：59.81% 契約金額合計：241,242千円 (物品購入)入札：19件 落札率：86.80% 契約金額合計：151,175千円 (随意契約)件数：188件 契約金額合計：822,736千円 指名停止：3件	
	(2)抽出事案に係る入札及び契約 手続き等の審議 対象期間 平成24年4月1日～9月30日	抽出件数：1 1 件 （内訳）一般競争入札：3 件 指名競争入札：4 件 随意契約：4 件	
	3 その他	次回の開催は7月を予定する 事案の抽出は安藤委員が行う	
委員からの質問・意見それに対する回答等		質問・意見	回答
		別紙 1、2、3	別紙 1、2、3
委員会による意見の具申又は勧告（講評）		別紙 4	

別紙 1

質問・意見	回答
1 報告 ・ 測量業務の地域性について、前回の会議で懸念していた内容については、受注状況資料により、そうでないことが確認できた。 ・ 工事監理業務について、50万円以下は同一業者でもかまわないとあるが、50万円以下という根拠はなにか。 ・ 工事監理業務は、重要な業務であり、設計業者とは別の業者が違う目線で行うことはよいことと考える。	・ 業務価格50万円以下については地方自治法で認められた随意契約の範囲であり、これについては例外として認めている。
2 平成24年度上半期入札契約状況等 ・ 疑義申立による入札中止が3件あるが、積算誤りが起こらないようにするためのチェック体制等どう考えているのか。	・ 工種に合わせたチェックシートを作成し、複数職員での内容チェックを行っている。また、積算に関する研修会を実施し、積算誤りに対する認識を深める取り組みも行っている。
3 抽出事案に係る入札契約手続き等の審議 ・ 今回の事案抽出の考え方 疑義申立により再入札になったもの、落札率の低いもの、業務内容について分かりにくい案件を抽出した。	
(1)制限付一般競争入札 市道市原線(森文室線)道路改良工事 (第5工区) ・ 最低制限価格に非常に近い金額で落札されているのが気になるがどうか。	・ 土木工事については、歩掛・単価等ほとんどが公表されており、業者の積算も市の積算に近いものとなっている。最低制限価格の計算方式も公表しているため、落札したい業者は最低制限価格付近での入札が集中する傾向にあると考える。 今回は、疑義申立期間中に工事費内訳書を公表しているため、特にこういう結果になったと考える。
(2)制限付一般競争入札 市道特15号線(佐野橋)橋梁架替工事 (その5)	・ 質疑、意見等なし。
(3)制限付一般競争入札 変更認可業務(黒井処理区、竹田処理区、吉見処理区) ・ 業務内容はどのようなものか。 ・ 積算はどのようにしているのか。	・ 7年毎に業務計画の更新をするもので、今回は合併に伴い3処理区を一括で更新している。 ・ 複数業者より見積を徴集し、積算している。

別紙 2

質問・意見	回答
(4)指名競争入札 普通教室扇風機設置工事 ・ 工事請負期間中に業者が起訴されているがどう処理したのか。	・ 丹波警察署からの通知を受け、工事請負契約を解除し工事を打ち切った。
(5)指名競争入札 電話での市税納付勧奨のための人材派遣 ・ 時間単価の契約であるが、総額がわからないで業者は入札しているのか。また、職員では対応できないのか。 ・ この程度の金額の入札であれば、入札コストの方が高いのではないか。 公平性と入札コストについてまとめていただけないか。	・ 入札時に仕様書により総時間数を明記しているので総額は把握できての入札である。件数が膨大なため職員による対応は困難と考える。 ・ 公平性を重視して入札を行っている。 入札コストについては資料を検討する。
(6)指名競争入札 丹波竜恐竜化石レプリカ製作等業務 ・ 積算はどのようにしているのか。	・ 兵庫県立人と自然の博物館の製作実績を参考に積算している。
(7)指名競争入札 恐竜骨格レプリカ等購入 ・ 丹波竜化石レプリカとの違いはなにか。	・ 丹波竜以外の恐竜レプリカを購入するものです。
(8)随意契約 丹波市ごみ処理施設軽作業等業務 ・ 積算は基本的にどのような考え方が。	・ 施設の稼働日数及び作業時間を算定し積算している。
(9)随意契約 一般廃棄物収集運搬業務 ・ 1台あたり何人での積算なのか。 ・ 随意契約理由についてやや弱い感じがするので、今後検討されたい。	・ 運転手を含めて2人としている。 ・ 次回以降再考する。

別紙 3

質問・意見	回答
(10)随意契約 水質検査業務 ・ 落札率が低く他業者との差も大きい。簡易的な検査なのか。	・ 専門的な水質検査である。落札業者は、丹波市近隣に営業所があり経費的にも安価に積算されたことも推測できる。
(11)随意契約 丹波市春日庁舎空調機器保守点検業務 ・ 非常に落札率が低い、去年はどうであったのか。 ・ かなりの金額の予算残が出ている。前年度実績にかかわらず予算が決まっていることに違和感がある。契約としては問題ないが予算制度について次回にでも考えをまとめてほしい。	・ 去年も同一業者、同一金額であった。
4 その他 ・ 職員の不祥事に関する経過及び対策に関する報告書(案)について ・ 職員憲章というのはあまり聞いたことがないが基本的な内容でありよいと思う。一週間に一度唱和することも大事であると思う。 ・ 安価で落札すれば経営を圧迫する要因となる。最低制限価格についても考える必要があると思う。破産関係を見ていると末期は赤字覚悟でやっており黄色信号が出ていると判断でき、そのチェックも課題であると思う。 ・ 再発防止に関する提言については非常に具体的であり、現時点ではベストプラクティスとしての報告である。一つ一つの項目が非常に分かり易い内容であり詳細である。コンプライアンスセクションが中心となり進捗度管理や推進体制を作られたらよいと思う。	・ 昨年、業務委託にも最低制限価格制度を試行運用している。業者にとっては、設計業務と工事監理業務を合わせて考えている形跡もあり、議会からも指摘を受けている。

別紙 4

委員会による意見の具申又は勧告（講評）

- 1 . 今回の事案抽出の考え方
 - ・ 疑義申立により再入札となったもの
 - ・ 落札率の低いもの
 - ・ 業務内容等についてわかりにくいもの以上を基準に 11 件を抽出

 - 2 . 総括
 - ・ 平成 24 年度上半期（平成 24 年 4 月 1 日～9 月 30 日）の入札・契約のうち抽出された 11 件の事案については、規則・基準等に基づき適正に執行されていると思われ、不適切な行為があったと明確に言えるものはなかった。

 - 3 . 今回の指摘事項
 - 入札コストについて
 - ・ 入札コストと公平性について方針等まとめること。
- 予算について
- ・ 予算編成において前年度実績との関連について考えをまとめること。